

釜川千倉沢(右俣) 苗場山

沢登り

2022年08月12日(金)

参加者：入江 (境町山の会), 桐林 (記)



三ツ釜大滝

前回所属していた山の会で、新人を連れて行くのに良い沢だと連れて行かれた。しかし、途中から雨が降り先に進めない。どんどん増水。ビバークの位置を上へ上げた。逃げるのもやっとならぬ、新人には恐怖感しか残さない、川の一つとして記憶された。『[沢登り銘溪62選](#)』を参考に遡行した。事前の天気予報を考え、完全遡行は辞め横沢二股前の林道までを日帰りとした。

前夜発で前所属の事務所に泊。入江氏も仕事後合流。朝4時出発し、6時過ぎに入渓。快晴とはいかず、どんより雨が降りそうなはっきりしない天気模様。まずは巨岩帯をゆく。前は左俣まで3時間かかっていたところ、1時間弱。良いペース。その後、CS滝の高巻きや嫌らしい右壁のへつり、左壁の泥まじりの高巻きと、微妙なバランスもだがメンタルを沢では必要とすることを実感した。

前回見られなかった三ツ釜大滝に10時30分ごろ到着。それまでにパラパラ雨が降っていたため、尾根に逃げるか相談。結局勢いに任せ前進。こうなったら真つ向勝負と気負う。フリクションを効かせる登りがしばらく続き、8mの滝を高巻いた。釜をもつ12m滝を恐る恐る左壁より取り付く。ホールドは豊富で快適。その後順調にゆき一番懸念の12m滝の草付き高巻き。空荷で登ってもらい、後からタイブロックで登った。緊張感がドバツと解放された。

小滝とCS滝5mは高巻いた。ズンズン進み、最後の大釜2条12m滝。水流をくぐり抜けシャワークライム。水圧で剥がれそうになり、バクバク。ついに突破した達成感に酔いしれる。

林道に到着。16時手前。あとは歩くだけかと思いきや、まさかの藪漕ぎ2時間。駐車場に20時半ごろ。反省会は繰り越した。



大釜2条12m 水流を登る